

9月定例会 一般質問

【子どもたちを熱中症の危険から守れ!】

Q1 綿素材とポリエステル素材で熱中症対策に有効な素材の教育委員会の認識は?

A1 綿素材と比較して、ポリエステル素材には通気性、速乾性があり、有効な素材の1つとして捉えている。

Q2 それを踏まえて、学校の体育着について、綿素材70%以上の体育着を使用している学校は何校あるのか?

A2 小学校11校、中学校1校。

Q3 学校開放において原則屋外での運動中止である熱中症警戒アラートが出ていてもなぜ使用可能なのか?

A3 新型コロナウイルス感染症対策のような特別措置法に基づく制限がないため、現時点においては施設の使用は可能。

Q4 昨今の暑さは甘く見ると、命の危険もある。現状の対応で充分なのか?

A4 国から、自治体、関連団体へも協力依頼があり、熱中症対策の周知を行うとともに、学校開放における運用上のルールについても検討する。



石川 友和 議員



石川 友和 議員の一般質問の様子はこちら

【健全な財政運営に必要な中期財政計画はいつできるのか?】

私は本年、3月定例会の予算質疑で、総務省が、地方自治体が中長期的な財政運営を安定させ、住民サービスの質を意識しながら、財政健全化を図る為に推奨している(中期財政計画策定)の必要の有無について伺いました。財務部長からは「中期財政計画の作成は必要であると考えている。そのため、他市の計画を参考に作成方法や利活用について研究してまいりたい。」との大変前向きなご答弁を頂きました。

Q1 中期財政計画策定に向けた「課題」とは何か?をお伺いいたします。

A1 中期的な財政収支を作成することは必要である。一方で流動的な社会経済状況を鑑みると、数年先を見通すことは難しい。また国の施策も流動的であり、市の施策や財政収支に対しても大きな影響がある。このような状況から策定した計画が有効な活用が可能かどうかなど、計画の有用性についても課題である。3月定例会での質疑で、私は「令和7年度の予算を計上する段階で検討づくり体制を含めて庁内の体制が構築できるかどうか?」と伺いましたところ、財務部長からは「中期財政計画の必要性については認識しており、できるだけ早期の作成を目指してまいります。」とのご答弁を頂きました。

Q2 必要性を認識しておられる中期財政計画は、いつ策定され、いつ公表できるのか?

A2 財政収支の見通しを策定、公表は可能です。しかしながら、流動的な社会経済状況や、国の施策の方向性を見通すこと、また中期財政計画そのものの有用性も大きな課題である。きちんとした見通しを示すことが難しい面もあるので、公表時期については引き続き検討していく。

山口 剛一 議員の一般質問の様子はこちら



山口 剛一 議員



【先行投資としての資格取得費補助を】

春日部市では、雇用拡大や人材不足解決のため、さまざまな支援事業を実施している。

【こども未来部】 保育士やひとり親家庭向けの国・県に沿った支援

【商工振興課】 有資格者の保育士や介護士に復職セミナー

就職氷河期世代(昭和45~59年生まれ)向けPC資格取得のセミナー

有資格保育士、介護士の復職セミナーは独自の財源の施策だが、受講者や復職者が少なく、「最小の経費で最大の効果」が得られているのか疑問が残った。

千葉市の資格取得補助金のような、対象年齢や職種を広げ、働きながら子育てをしたい女性などを含む【個人】向けの支援を要望。

労働施策は、財政面や定住人口の増加にもつながり、様々な効果が期待され先行投資として十分に価値があると思う。

永田 あすか 議員の一般質問の様子はこちら



永田 飛鳳 議員



その他の所属議員による一般質問はこちら



山崎 進 議員

「災害に備えた市の対応について」
「武里団地の今後について」

議会答弁の様子はこちら



水沼 日出夫 議員

議会選出の監査委員のため
一般質問はできない慣例になっています。

過去の答弁の様子はこちら



金子 進 議員

「高齢者の課題について」
「農業振興策について」

議会答弁の様子はこちら



会田 吉幸 議員

「成年後見制度の利用促進について」

議会答弁の様子はこちら



鬼丸 裕史 議員

「学校施設における教育環境の充実について」

議会答弁の様子はこちら

